

2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年8月3日

上場会社名 株式会社ADEKA

上場取引所 東

コード番号 4401 URL <https://www.adeka.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 城詰 秀尊

問合せ先責任者 (役職名) 法務・広報部長 (氏名) 影島 光

TEL 03-4455-2803

四半期報告書提出予定日 2018年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	61,779	7.5	5,384	3.2	5,832	6.7	4,090	6.0
2018年3月期第1四半期	57,482	7.3	5,216	9.6	5,467	30.9	3,860	36.8

(注)包括利益 2019年3月期第1四半期 2,667百万円 (△41.9%) 2018年3月期第1四半期 4,589百万円 (209.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	39.74	—
2018年3月期第1四半期	37.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	313,052	205,048	63.0
2018年3月期	312,152	205,088	63.0

(参考)自己資本 2019年3月期第1四半期 197,075百万円 2018年3月期 196,619百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	17.00	—	22.00	39.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	21.00	—	22.00	43.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	127,000	10.7	10,300	0.9	10,600	0.5	7,100	△2.2	68.97
通期	259,000	8.1	22,100	3.6	23,200	3.9	15,900	3.6	154.47

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期1Q	103,651,442 株	2018年3月期	103,651,442 株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	721,781 株	2018年3月期	721,601 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期1Q	102,929,680 株	2018年3月期1Q	102,831,030 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」から、日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2018年4月1日から同年6月30日）における世界経済は、底堅い成長が続く一方で、米国の通商政策により世界的な貿易摩擦の拡大が懸念されるなど、先行き不透明感が強まりました。国内は、政府の経済政策や海外経済の底堅い成長などを背景に、企業収益や雇用環境の改善が続き、緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループ事業の主要対象分野である自動車関連分野は、欧米及び中国市場での販売が好調に推移しました。IT・デジタル家電分野は、データセンター及び仮想通貨のマイニング(採掘)用途向けに半導体需要が拡大したことに加え、大型テレビ及び車載用途向けに液晶ディスプレイの需要が拡大しました。製パン・製菓関連分野は、国内需要が底堅く推移しました。

このような状況のなか、当社グループは、2018年度から3カ年の中期経営計画『BEYOND 3000』をスタートし、「売上高3,000億円を超えるグッドカンパニーとなる」という基本方針のもと、戦略製品の販売拡大、新規分野の事業化、それらを支える経営基盤の強化など、さらなる成長に向けた施策を積極的に推し進めています。樹脂添加剤では、三重工場を高機能添加剤の設備増強に着手しました。機能化学品では、千葉工場で化粧品原料の設備増強を進めています。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は617億79百万円（前年同期比7.5%増）、営業利益は53億84百万円（同3.2%増）、経常利益は58億32百万円（同6.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は40億90百万円（同6.0%増）となりました。

報告セグメント別の概況は次の通りです。

(化学品事業)

当事業の売上高は、413億94百万円（前年同期比7.7%増）、営業利益は49億36百万円（同5.0%増）となりました。

なお、第1四半期連結累計期間から、化学品事業内の区分を見直しました。

従来「機能化学品」に含めていた樹脂添加剤を新たに「①樹脂添加剤」として区分しています。また、従来の機能化学品に含めていた界面化学品・機能性樹脂と基礎化学品を合わせて「③機能化学品」として区分しています。この変更により、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後の区分に組み替えた数値で算出しています。

①樹脂添加剤

ポリオレフィン用添加剤は、世界的な樹脂需要の高まりを背景に、汎用酸化防止剤の販売が海外で堅調に推移しました。

可塑剤・塩ビ用安定剤は、全体としては低調でしたが、自動車部材向けにゴム用可塑剤の販売が海外で好調に推移しました。

難燃剤は、家電向けに縮合リン酸エステル系難燃剤の販売が海外で好調に推移したほか、建材、電線向けにイントメッセント系難燃剤の市場開拓が進展し、販売が堅調に推移しました。

樹脂添加剤全体では、原材料価格上昇の影響や積極的な設備投資による固定費の増加により、前年同期に比べ増収減益となりました。

②情報・電子化学品

情報化学品は、液晶ディスプレイの高精細化や好調な半導体市場の需要を捉え、光学フィルムやフォトレジスト向けに光硬化樹脂、光開始剤の販売が好調に推移しました。

電子材料は、データセンター向けなどを中心に旺盛なメモリ需要が続き、DRAMや3D-NANDに使用される誘電材料の販売が好調に推移しました。また、リードフレームや液晶ディスプレイのエッチング工程向けに回路材料の販売が国内で堅調に推移しました。

情報・電子化学品全体では、前年同期に比べ増収増益となりました。

③機能化学品

界面化学品は、自動車エンジンオイル向けにCO₂排出低減や燃費向上に寄与する潤滑油添加剤の販売が国内外で好調に推移しました。また、化粧品向けグリコール系保湿剤の販売が海外を中心に堅調に推移しました。

機能性樹脂は、電子機器の接着用途や自動車の構造用接着剤向けに高機能エポキシ樹脂の販売が好調に推移しました。

工業用薬剤は、トイレタリー等の日用品向けにプロピレングリコールの販売が堅調に推移しました。また、電子回路向けに過酸化製品の販売が堅調に推移しました。

機能化学品全体では、原材料価格上昇の影響を受け、前年同期に比べ増収減益となりました。

(食品事業)

当事業の売上高は、177億4百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は2億42百万円（同45.5%減）となりました。

国内では、製パン・製菓向けを中心にマーガリン、ショートニング類の販売が堅調に推移しました。また、洋菓子・デザート向けにホイップクリーム等の販売が好調に推移しました。

海外では、販売・開発体制の強化と現地ニーズにあった製品の開発などにより、中国、東南アジアでの販売が拡大しました。

食品事業全体では、乳原料などの原材料価格上昇の影響を受け、前年同期に比べ増収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

総資産につきましては、前期末に比べ9億円増加（前期比0.3%増）し、3,130億52百万円となりました。

負債につきましては、前期末に比べ9億40百万円増加（前期比0.9%増）し、1,080億4百万円となりました。

純資産につきましては、前期末に比べ39百万円減少（前期比0.0%減）し、2,050億48百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の連結業績予想につきましては、2018年5月10日に公表の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	49,669	49,249
受取手形及び売掛金	55,397	55,966
有価証券	7,763	8,104
商品及び製品	22,833	22,098
仕掛品	4,928	4,890
原材料及び貯蔵品	18,452	18,090
その他	6,250	6,566
貸倒引当金	△341	△331
流動資産合計	164,953	164,634
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	25,104	25,022
機械装置及び運搬具（純額）	29,882	29,740
土地	21,282	21,229
その他（純額）	9,276	10,616
有形固定資産合計	85,546	86,607
無形固定資産		
のれん	29	13
その他	4,051	3,928
無形固定資産合計	4,080	3,941
投資その他の資産		
投資有価証券	46,123	46,354
その他	11,448	11,514
投資その他の資産合計	57,571	57,868
固定資産合計	147,198	148,418
資産合計	312,152	313,052

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,599	37,797
短期借入金	15,567	15,850
1年内償還予定の社債	300	300
未払法人税等	3,040	1,847
賞与引当金	2,355	1,193
その他の引当金	75	18
その他	15,877	13,848
流動負債合計	75,815	70,855
固定負債		
長期借入金	7,349	13,329
退職給付に係る負債	16,959	17,098
その他の引当金	274	144
その他	6,663	6,576
固定負債合計	31,248	37,148
負債合計	107,063	108,004
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,944	22,944
資本剰余金	19,985	19,985
利益剰余金	135,988	137,801
自己株式	△554	△554
株主資本合計	178,363	180,176
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,002	12,116
土地再評価差額金	4,276	4,276
為替換算調整勘定	4,346	2,812
退職給付に係る調整累計額	△2,368	△2,306
その他の包括利益累計額合計	18,256	16,898
非支配株主持分	8,468	7,973
純資産合計	205,088	205,048
負債純資産合計	312,152	313,052

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	57,482	61,779
売上原価	43,466	47,196
売上総利益	14,016	14,582
販売費及び一般管理費	8,799	9,198
営業利益	5,216	5,384
営業外収益		
受取利息	70	57
受取配当金	202	189
持分法による投資利益	53	—
為替差益	—	182
その他	135	177
営業外収益合計	462	606
営業外費用		
支払利息	101	94
持分法による投資損失	—	9
為替差損	30	—
その他	79	54
営業外費用合計	210	158
経常利益	5,467	5,832
特別損失		
固定資産廃棄損	35	68
特別損失合計	35	68
税金等調整前四半期純利益	5,431	5,764
法人税、住民税及び事業税	1,512	1,624
法人税等調整額	△172	△133
法人税等合計	1,340	1,490
四半期純利益	4,091	4,274
非支配株主に帰属する四半期純利益	231	183
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,860	4,090

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	4,091	4,274
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	80	36
為替換算調整勘定	68	△1,784
退職給付に係る調整額	70	62
持分法適用会社に対する持分相当額	278	78
その他の包括利益合計	497	△1,606
四半期包括利益	4,589	2,667
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,333	2,733
非支配株主に係る四半期包括利益	255	△65

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化学品事業	食品事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	38,427	17,077	55,504	1,977	57,482	—	57,482
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	33	6	39	3,317	3,356	△3,356	—
計	38,460	17,083	55,543	5,294	60,838	△3,356	57,482
セグメント利益	4,703	444	5,148	51	5,200	16	5,216

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事及び工事管理、物流業、不動産業等を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額16百万円は、セグメント間取引消去額を含んでいます。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化学品事業	食品事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	41,394	17,704	59,099	2,679	61,779	—	61,779
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	32	4	36	3,489	3,526	△3,526	—
計	41,426	17,709	59,135	6,169	65,305	△3,526	61,779
セグメント利益	4,936	242	5,179	197	5,376	7	5,384

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事及び工事管理、物流業、不動産業等を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額7百万円は、セグメント間取引消去額を含んでいます。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。